

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 玉田、坂口、島田、江本、高松、丸尾、平田

2. 山城／ルート 綿向山（滋賀県鈴鹿山系）

3. 交通手段 車

4. 行動記録

<入山日 2019年1月26日>

1/26（雪）神戸6時出発---大津7:30

御幸橋駐車場9:00---5合目10:45---7合目11:15---綿向山山頂12:00---7合目12:30（昼食）

---14:00 駐車場 蒲生野の湯入浴後帰神

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

天候が悪かったので、ラウンド（綿向山～竜王山）の予定を、綿向山ピストンに変更した。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・天候が悪いにもかかわらず、駐車場は20台ほど車が止まっている。やはり人気の山である。
- ・雪は5合目までが5～10cm、5合目から上で20～30cm程度、平年より少なかった。
- ・7合目から上は傾斜がきつく、Hさんは6本軽アイゼンだったので下りがちょっと厳しかったようだ。
- ・山頂は風雪が強く視界も悪かったが、樹氷のトンネルとエビのしっぽが見られた。
- ・帰りは竜王IC近くの『蒲生野の湯』に立ち寄り湯、26日は風呂の日で800円⇒500円

報告者氏名 玉田優子 2019年1月28日

【綿向山感想】

・厳しい天気予報の中、積雪を心配して皆ラッセルの覚悟をしていた。しかし駐車場には雪が無く、稜線に出るまで快適だった。稜線ではさすがに吹雪かれ、凍傷にならないように手足を揉みしだきながらの歩行となった。山頂に近づくに連れて樹氷が綺麗で、海老の尻尾も成長していた。

樹氷を見るためのスノーハイキングとしては、最高に条件の良い日だった。普段一緒に山行することのない人たちと話せたことも良かった。

坂口

・初めてお会いする方もあり、少し緊張しましたが、皆様の数々のアドバイスや歩きやすいように足跡をつけて下さったり、ジョークもあり、とても楽しく、ありがたかったです。
事前にストックのチェックもしておかないといけないと反省しました。
メガネが曇り、帽子がずれて、足元が見えず困りました。曇り止めを塗るのをすっかり忘れていました。
帽子はバラクラバを購入したほうが良いかと思いました。

平田



5合目避難小屋前

風雪の綿向山山頂

